

主要な施策の成果（「汗動・協働・創造」粋事業）

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	2款 総務費				
事業名	オープンデータ活用実証事業費				
担当課	情報政策課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
5,875		5,875			

## 説明

- 総務省による「ICT街づくり推進事業」として選定された「地域公共ネットワーク基盤構築事業」で構築したICTサービスプラットフォーム「DATA for CITIZEN (以下「D4C」という。)」を地域の共通基盤とし、地域住民、民間企業、大学等学術機関と連携・協働し合いながら、有益なデータやサービスの創出に取り組みました。

### 【オープンデータコンテスト】

D4C上のデータを活用したアイデアやサービスを募集するとともに、D4C上に登録する形で地域のデータも募集しました。

応募部門	応募件数
アプリ・サービス部門	13件
データ部門	6件
アイデア部門	32件
活動部門	3件
合計	54件

受賞した作品の一部は、市の事業への適用、行政提案型協働モデル事業への採択、市内NPOとの協働による地域展開など、市民協働のもと自律的に運用・地域実装が行われています。また同時に、有望な作品は全国的なコンテスト（アーバンデータチャレンジ）にも応募を促し、11の受賞作品のうち2つを会津若松発の作品で占めることができました。

### 【車両走行情報の収集】

道路パトロール車及び市内循環バス、鉄道の走行情報と位置情報をD4Cに蓄積しました。

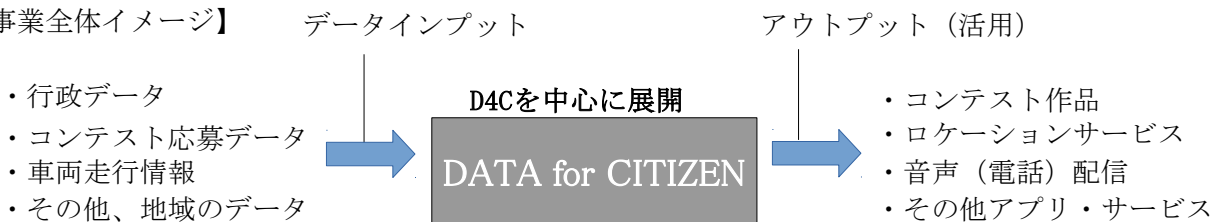
- ・ビッグデータの蓄積
- ・ロケーションサービス等公共交通への応用可能性の示唆
- ・センサーデータの活用による日報帳票の電子化実験

### 【音声伝達によるオープンデータ活用】

D4C上のデータを音声（電話）で配信し、ICTリテラシーのレベルに関わらず情報を取得する仕組みの実証を行いました。

- ・公共交通関連（バス、鉄道）の情報発信について協議

### 【事業全体イメージ】



# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	2 款 総務費				
事業名	市民協働推進事業費 (行政提案型協働モデル事業委託料)				
担当課	企画調整課 協働・男女参画室				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
1,847		1,847			
説 明					
<p>○ 市民との協働による地域の課題解決と、より幅広い協働の実践につながるモデル事業を創出することを目的に、平成26年4月に策定した「会津若松市市民協働推進指針」の実践の一環として、市民公益活動団体との協働事業（4事業）に取り組みました。</p> <p>いずれの事業も互いに顔が見える打合せを丁寧積み重ね、相互の信頼関係を構築しつつ、試行錯誤しながら取組を進め、次の実践活動につながるものとなりました。</p> <p>〔事業内容〕</p> <p>1. 理美容室で若返り介護予防事業</p> <p>主に要支援1及び2の方を対象として、地域の複数の美容室を活用した介護予防美容と参加者同士の交流会（健康相談や介護相談、軽体操等）を開催しました。</p> <p>参加者には、この事業をきっかけに外出頻度が増した方もおり、閉じこもり予防に一定の効果 を上げることができました。</p> <p>(1) 実施主体 一般社団法人会津理容美容協会（担当課：高齢福祉課）</p> <p>(2) 事業費 500千円</p> <p>(3) 参加人数 延べ17名（内訳：70歳代 4名、80歳代 13名）</p> <p>(4) 主な内容 事業実践の流れ（1日の流れ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パーマ・カット等の施術（午前）</li> <li>・昼食</li> <li>・健康相談・軽体操（午後）</li> </ul> <p>2. フリースペース整備による若者交流促進事業</p> <p>西若松駅と周辺地域のさらなる活性化を図るため、駅周辺のフリースペースを活用し、人的交流を促進する仕組みを検討しました。</p> <p>整備場所や設備の仕様に関する課題に対して、団体や関係機関等と協議を重ね、事業の進捗状況や情報を共有しながら取り組むことができました。</p> <p>(1) 実施主体 Like会津実行委員会(担当課：地域づくり課)</p> <p>(2) 事業費 500千円</p> <p>(3) 対象場所 県道中沢・西若松停車場線西若松跨線橋高架下</p> <p>(4) 主な内容 フリースペースの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備方法と運営方法の検討</li> <li>・利活用のためのハード整備</li> <li>・整備イベントの実施</li> </ul>					

### 3. 門田地区独自の住民・行政・事業者間連携型地域づくりシステム構築事業

現在、北会津及び河東地域で取り組まれている「地域づくり委員会」の新たなモデル地域として門田地区を設定し、地域の運営や持続可能な仕組みづくり、コミュニティの活性化方策について検討・実践しました。

地区の強み・弱みの検証や実践活動等を通じて、地域課題への取組の方向性や手段が明確になり、今後の取組への道筋ができました。

- (1) 実施主体 門田地区各種団体連絡協議会(担当課：地域づくり課)
- (2) 事業費 347千円
- (3) 主な内容
  - ・地域づくり組織の検討
  - ・地域住民の人材育成及び地区の現状把握と課題の抽出
  - ・実践事業の実施（地区特産品を活用した料理の開発、自主防災組織の検討等）

### 4. シニア世代の人材発掘・情報共有事業

シニア世代等が抱く社会貢献意識を、効果的・効率的に実践活動に結びつけるための情報提供のあり方や、仕組みづくりなどについて検討・実践しました。

市が持つ市民活動団体情報や広報発信力と、NPO法人独自の柔軟性、機動性を合わせることで、シニア世代の参加者自身が楽しみながら、具体的なニーズや課題を掘り起し、実践活動を行うことができました。

- (1) 実施主体 特定非営利活動法人環境地域文化エナジー(担当課：協働・男女参画室)
- (2) 事業費 500千円
- (3) 主な内容 シニア世代等による検討委員会で検討・実践
  - ・「輝きサロンビタミンあいづ」の開催
  - ・「シニア世代のための地域づくり講演会」の開催ソーシャルベンチャーの支援
  - ・NPO・市民活動におけるシニア人材のマッチング事業

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	2款 総務費				
事業名	スマートシティ会津若松推進事業費 (スマートコミュニティ導入促進事業)				
担当課	企画調整課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	地方債	一般財源
3,845	2,531	114	100	1,100	

## 説 明

○ 市の公用車としても利用している電気自動車について、災害時には防災拠点施設の非常用電源として活用できるよう、施設に給電できる装置の設置箇所を拡大しました。

### 1. これまでの設置箇所

#### ①市役所本庁舎2基（平成25年度）

- ・市民課フロア用：照明や災害時に市民へ情報提供ができるデジタルサイネージ（※1）などへの給電体制を整備しました。
- ・市ホームページ関係機器用：災害時にも市のホームページにて情報提供が継続できるように市のインターネット設備への給電体制を整備しました。

#### ②水道部（平成26年度）

- ・水道部：ライフラインである水道に関する災害対応を行うため、水道部内の電話交換設備や執務室への給電体制を整備しました。

### 2. 平成27年度の設置箇所及び決算額

- ・平成25、26年度に引き続き、災害時には防災拠点となる北会津、河東両支所のフロアの照明やコンセントなどへの給電体制を整備しました。

内 容	金 額
北会津支所電気自動車充電・給電装置設置工事	1,728千円
河東支所電気自動車充電・給電装置設置工事	2,117千円
合 計	3,845千円

※1 デジタルサイネージ…デジタル技術を活用して平面ディスプレイやプロジェクタなどで映像や情報を表示する広報看板

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款		2 款 総務費			
事業名		未来人財育成事業費 (新生日本・再生故郷実行委員会負担金)			
担当課		企画調整課			
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
13,500		9,500	4,000		
説 明					
<p>○ 新生日本・再生故郷実行委員会では、「プラチナ構想ネットワーク」との連携のもと、エコで快適なまちづくりの推進を目指すとともに、新生日本・再生故郷をテーマに、被災地から日本全体の新たな社会構築への挑戦を目指し、地域活力の再生に向けて、次世代を担う“人財”の育成事業を中心とした取組を実施しました。</p> <p>〔事業内容〕</p> <p>1. グローバル人材育成事業</p> <p>郷土の偉人である野口英世博士とゆかりの諸国とのつながりを縁に、会津地方の高校生を各国大使館に派遣するなど、異文化に触れる機会を提供し、子ども達の国際社会への関心を深めることでアウトバウンド（海外留学、国際貢献など）への興味やグローバルな視点を持った思考の習熟を図りました。</p> <p>(1) SUMMER CAMP（国際理解・アフリカ理解を深める体験学習）</p> <p>① 開催期間 平成27年7月27日～7月29日（2泊3日）</p> <p>② 参加者数 会津地域高校生 31名</p> <p>③ 主な内容 ・外務省、アフリカ各国大使館、JICA地球広場への訪問 ・各国大使、外務省職員との懇談 ・成果報告に向けたグループワーク</p> <p>(2) 成果報告会</p> <p>① 開催日 平成27年10月17日</p> <p>② 参加者数 約120名</p> <p>③ 主な内容 ・SUMMER CAMP参加高校生による成果報告 ・講演（講師：朝日新聞国際報道部記者 杉山 正 氏）</p> <p>2. 未来人財育成塾事業</p> <p>次世代を担う子どもたちが日本、世界をリードし活躍している講師陣と接することで、自らが未来について考え、夢を描き、目標を持って取り組む機会を提供することを目的に、プラチナ構想ネットワークと連携して人材育成事業を実施しました。</p> <p>① 名 称 プラチナ未来人財育成塾@会津</p> <p>② 開催期間 平成27年8月2日～8月8日（6泊7日）</p> <p>③ 参加人数 全国から参加した中学生 93名（うち市内19名）</p> <p>④ 主な内容 ・日本、世界をリードし活躍する講師陣による講義（14講義） ・グループワーク（講義の振り返り・将来のやりたいことを考えるワーク） ・課外活動（絵ろうそく絵付け体験と点灯式、土津神社の見学と会津の徳育講座） ・成果発表会 ・柏の葉スマートシティの見学</p> <p>3. 地域活性化のための講演会（「アクティブシニアの活躍で多世代が輝く街づくり」）の開催</p> <p>多世代が参加する活力あるまちづくりの推進を目指し、「アクティブシニア」の活躍について考える講演会を開催しました。</p> <p>① 講 師 三菱総合研究所プラチナ社会研究センター主席研究員 松田 智生 氏</p> <p>② 開催日 平成27年11月25日</p> <p>③ 参加人数 市民75名</p>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	2 款 総務費				
事業名	北会津地域活性化事業費 (市民協働地域づくり委員会活動事業負担金)				
担当課	北会津支所まちづくり推進課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
1,000		1,000			
説 明					
<p>○ 北会津地域における市民参加によるまちづくりを支援するために組織した「地域づくり委員会」へ負担金を交付し、市民の声を活かしたまちづくりの実現を図るための実証・実践的な取組について支援を行い、地域の活性化を図りました。</p> <p>・ 地域づくり委員会会員数 32名 (平成28年3月31日現在)</p> <p>[主な事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織の構成に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域づくり講演会の実施 (北会津地域連携会議と合同)</li> <li>地域づくり委員会活動報告会の開催 (河東地域づくり委員会と合同)</li> <li>まちづくり推進ニュースの発行 (5回)</li> <li>独自チラシ等の配布 (8回)</li> </ul> </li> <li>・ 簡易な地域支援事業の取組に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の課題や問題点、解決に向けた話し合いや、実践活動の検証等委員会発意による実践活動の実施 (3件) <ul style="list-style-type: none"> <li>「みどり (花) 香るまちづくり推進事業」</li> <li>「イベントカレンダー配布事業」</li> <li>「各種団体連携・協力体制づくりモデル事業」</li> </ul> </li> <li>地域づくり活動支援事業 (住民提案型公募事業) の実施 (4件) <ul style="list-style-type: none"> <li>「ふれあいサロン真宮」</li> <li>「自分の体を知ろう! アスリートとのふれあい」</li> <li>「北会津まるごと米粉ピザづくり事業」</li> <li>「ほたるの立体紙芝居屋でございます」</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款		2款 総務費			
事業名		河東地域活性化事業費 (市民協働地域づくり委員会活動事業負担金)			
担当課		河東支所まちづくり推進課			
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
1,000		1,000			
説 明					
<p>○ 河東地域における市民参加によるまちづくりを支援するために組織した「地域づくり委員会」に負担金を交付し、市民の声を活かしたまちづくりの実現を図るための実証・実践的な取組への支援を行い、地域の活性化を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域づくり委員会会員数 119人 (平成28年3月31日現在)</li> </ul> <p>[主な事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織の構成に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>研修会の開催</li> <li>地域づくり委員会報告会・講演会の開催 (北会津地域づくり委員会と合同)</li> <li>地域づくり委員会ニュースの発行 (7回)</li> </ul> </li> <li>・ 簡易な地域支援事業の取組に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の課題等の解決に向けたワークショップの開催 (5回)</li> <li>委員会発意による実践活動の実施 (6件) <ul style="list-style-type: none"> <li>「広田駅前環境美化運動支援」</li> <li>「防犯対策活動支援」</li> <li>「地域安全鼓笛隊パレードの支援」</li> <li>「各種行事への参加協力」</li> <li>「地元施設 (商店等) の利用推進」</li> <li>「地域づくり委員会ニュースの発行」</li> </ul> </li> <li>地域づくり活動支援事業 (住民提案型公募事業) の実施 (4件) <ul style="list-style-type: none"> <li>「郷土史啓蒙活動」</li> <li>「地域から始まる“ふくし”の時間」</li> <li>「河東町福祉ふれあい芸能発表会」</li> <li>「花を育てて桜河苑に届けよう」</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>					



# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	2款 総務費				
事業名	河東地域活性化事業費 (市民協働型地域おこし実践事業負担金)				
担当課	河東支所まちづくり推進課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
150		150			
説 明					
<p>○ 平成24年度に本市が認定を受けた「どぶろく特区」を活用し、河東地域の活性化を図るため、各種団体との協働により、「どぶろく」を使用した加工食品の開発ならびに、地域のPR活動など、地域の活性化を図りました。</p> <p>〔主な事業内容〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. どぶろく交流会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>新米で製造した「どぶろく」及び、「どぶろく」を利用した関連商品を発表する場として「どぶろく交流会」を開催し、河東地域にとどまらず、市内他地域へ浸透を図るための契機としました。</li> <li>また、交流会においては、地元産の「どぶろく」や関連商品を更に広めるために、関係団体を招いて情報交換をし交流を図り、地域の活性化に努めました。</li> </ul> </li> <li>2. 商品開発事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品の開発及び販売 <ul style="list-style-type: none"> <li>「火入れ瓶詰めどぶろく」</li> <li>「どぶろく関連商品（菓子）」</li> </ul> </li> <li>・2社で、商品開発・販売を実施</li> </ul> </li> <li>3. 販路拡大・PR事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種イベントへの参加による商品及び地域のPR（11件） <ul style="list-style-type: none"> <li>「北会津ホテルまつり」</li> <li>「かわひがし皆鶴まつり」</li> <li>「会津若松市物産展inよこすかポートマーケット」</li> <li>「かわひがし八日市」など</li> </ul> </li> <li>・商品のPRによる販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>取扱店舗数：7軒</li> <li>取扱飲食店数：6軒</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol>					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	4 款 衛生費				
事業名	電気自動車推進事業費 (スマートコミュニティ導入促進事業)				
担当課	環境生活課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	地方債	一般財源
8,891	5,279	1,195		2,300	117

説 明

- スマートコミュニティ構築の一環として、急速充電設備を北会津支所に増設し、災害時の電気自動車の利用を可能とする給電設備として有効活用を図るとともに、CO2の削減や市民の環境意識の啓発、低公害車の地域への普及に向けた取組を推進しました。

内 容	金 額
急速充電器（1基）工事請負費	8,478千円
電気自動車用急速充電器案内看板設置工事（1台）	157千円
合 計	8,635千円

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	6 款 農林水産業費				
事業名	農業応援総合プロデュース事業費				
担当課	農政課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
42,925	41,241			1,684	
説 明					
○安全農産物生産支援事業					
放射線物質吸収抑制対策の支援により、放射線物質が検出されない安全な農産物の生産を図りました。					
1. 放射線物質吸収抑制対策事業補助金					
①資材導入支援					
・内 容	放射線物質の農作物への吸収を抑制する資材の導入に要する費用の支援				
・補助対象者	JA等農業者の組織する団体（計11団体）				
・対象資材	カリ肥料（塩化カリ、硫酸カリ）				
・受益作物及び面積	水稲、大豆、そば 計4,532ha				
②効果検証支援					
・内 容	放射線物質の吸収抑制対策を実施するほ場と実施しないほ場を設置し、それぞれのほ場で生産された作物の放射線物質の濃度を測定し、当該年度の事業効果を検証しました。				
	なお、そばについては、モニタリング検査及び効果検証のいずれも放射線物質は検出下限値以下であったことから、平成28年度においては、放射線物質吸収抑制対策の補助対象外となりました。				
・実施箇所数	水稲 26箇所、 そば 3箇所				
○農産物安全情報等発信事業					
農産物の安全情報を量販店等の店頭で確認できる体制を整備するとともに、農産物販売促進チラシを作成して、生産者や流通業者の販売を支援しました。					
1. 農産物安全情報パネル					
・設置店舗数	20店舗				
・設置回数	年2回（春・秋）				
2. 農産物販売促進チラシ					
・作成品目数	15品目（米、農産物全般、果樹、そば）				
・利用方法	市ホームページ、農政課窓口等での配布				
○農産物等販路開拓・販売促進事業					
首都圏におけるPR活動（販売促進イベント）等により、風評の払拭を図りました。					
1. 販路開拓に係る個別相談会開催					
・市内において1回開催					

## 2. PR活動

### ・イベント等への出展 10回

平成27年 5月9日～10日	よこすかカレーフェスティバル2015	神奈川県横須賀市
7月18日～19日	にっぽりマルシェ	東京都荒川区
7月24日～26日	北会津銘柄米部会消費地情勢調査活動 及び販売促進活動	大阪府大阪市等
8月21日～23日	日本の匠の技展	東京都大田区
10月17日～18日	全国井サミットinいしかわ2015	石川県金沢市
10月19日～31日	日比谷ハーベストへの協賛	東京都千代田区
10月26日～27日	大野屋における販売促進イベント	神奈川県川崎市
11月10日	スズキヤにおける販売促進イベント	神奈川県逗子市等
11月14日～15日	物産展「ヨコスカマルシェ」	神奈川県横須賀市
11月21日～22日	横須賀市友好関係市フェア	神奈川県横須賀市

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	6 款 農林水産業費				
事業名	「会津の食」ブランド化事業費				
担当課	農政課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
20,000	5,000			15,000	

## 説 明

### ○あいづ食の陣実行委員会負担金

当該実行委員会への支援を通して、市内飲食店や宿泊施設、菓子販売業者等と連携しながら旬の地元農畜産物をメインとした商品の開発・販売を行うことにより、会津の食の魅力を外部へ発信するとともに、地元農畜産物の利用拡大とブランド化を図りました。

#### ①シーズンイベント

1年間を春（4月～6月）、夏（7月～9月）、秋（10月～12月）、冬（1月～3月）の4シーズンに分け、各シーズンのテーマ食材を利用した飲食メニューやお土産品等の提供をするとともに、各シーズン毎にパンフレットを作成し、参加店舗、提供メニューのPRや会津の魅力を紹介し、広く情報発信を実施しました。

・テーマ食材：春…アスパラガス、夏…トマト、秋…米・酒、冬…会津地鶏

・参加店舗の実績

*春・アスパラ	：	飲食店：53店、宿泊施設：9施設、販売店：17店	計79店舗
*夏・トマト	：	飲食店：55店、宿泊施設：9施設、販売店：15店	計79店舗
*秋・米、酒	：	飲食店：62店、宿泊施設：8施設、販売店：23店	計93店舗
*冬・会津地鶏	：	飲食店：52店、宿泊施設：8施設、販売店：7店	計67店舗

#### ②広報PR活動

地域内外でのイベント開催等によるPR活動や、参加団体が実施する食のイベントの情報を集約し、広くPR活動を実施しました。また、テーマ食材別カタログの作成（4回）、イベントへの出展、並びに市ホームページ、専用ホームページ、フェイスブック、市政だより、地方テレビ局の活用、地元新聞社の広告掲載等により広報活動を実施しました。

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款		7款 商工費			
事業名		医工連携推進事業費 (医療トレーニング機器開発推進事業委託料)			
担当課		企業立地課			
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
1,583		1,583			
説明					
<p>○ 市内企業を対象に見学会やセミナーを開催することで、医療やトレーニング機器への理解を深めるとともに、市内企業等を中心とするコンソーシアムを組織することで、医療トレーニング機器の開発を支援しました。 この結果、アドバイザー等からの助言を受けて、市内企業3社が心臓冠動脈カテーテル治療トレーニング用手首モデルの開発を進め、試作品を作製しました。</p> <p>[委託先] 一般財団法人 ふくしま医療機器産業推進機構 (理事長 菊地 眞)</p> <p>[コンソーシアム会議構成企業・団体] 市内企業 (北日本金型工業、サンブライト、西田精機)、会津若松市、会津若松商工会議所、福島県立医科大学会津医療センター、福島県医療機器販売業協会、福島県発明協会、会津産業ネットワークフォーラム、ふくしま医療機器産業推進機構</p> <p>1. 市内企業の医療機器関連産業への新規参入促進の取組み</p> <p>□医療機器関連展示会 (MEDTEC JAPAN 2016) への視察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時 平成27年4月24日 (金)</li> <li>・会 場 東京ビッグサイト (東京都江東区)</li> <li>・参加者 市内企業等4名</li> </ul> <p>□医療シミュレーション教育の現地見学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時 平成27年5月25日 (月)</li> <li>・会 場 福島県立医科大学 医療人育成・支援センター クリニカルスキルラボラトリ</li> <li>・参加者 市内企業等20名 (福島市)</li> </ul> <p>□キックオフセミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時 平成27年8月27日 (木)</li> <li>・会 場 会津若松ワシントンホテル</li> <li>・参加者 市内企業等25名</li> </ul> <p>□医療セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時 平成28年3月25日 (金)</li> <li>・会 場 会津若松ワシントンホテル</li> <li>・参加者 市内企業等23名</li> </ul> <p>2. 市内企業による医療シミュレータ開発支援の取組み</p> <p>□準備会議、コンソーシアム形成準備会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時 平成27年4月8日 (水)、7月13日 (月)</li> <li>・参加者 コンソーシアム参画予定の関係機関が参加</li> <li>・内 容 開発する医療トレーニング機器等について協議</li> </ul> <p>□コンソーシアム形成会議、コンソーシアム会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時 平成27年12月18日 (金)、平成28年3月23日 (水)</li> <li>・参加者 市内企業3社及び関係機関7団体が参加</li> <li>・内 容 福島県立医科大学会津医療センター鶴谷教授をアドバイザーに委嘱</li> </ul>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7款 商工費				
事業名	地場産業振興事業費 (会津漆器販路拡大事業実行委員会負担金)				
担当課	商工課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
3,663				3,663	
説 明					
<p>○ 会津漆器の販路拡大を図るため、消費者を対象とした国内最大級の展示会であるテーブルウェア・フェスティバル及び国内外のバイヤーを対象にしたインテリアライフスタイルに出展することにより、新しい会津漆器の魅力づくりと発信を行いました。</p> <p>1. テーブルウェア・フェスティバルにかかる取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会（全4回） 内 容：戦略的な売り方の実践方法、ブラッシュアップの方法、漆器の新しい見せ方など 参加者：延べ63社</li> <li>・商品開発指導会（全4回） 参加者：延べ40社</li> <li>・テーブルウェア・フェスティバルへの出展 期 間：平成28年1月31日～2月8日（9日間） 場所：東京ドーム 参加企業：10社</li> <li>・フィードバックセミナーの実施（1回） 内 容：商品の見せ方に関する手法について、改善点の整理と解決手法の探究 参加者：10社</li> </ul> <p>[事業成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブルウェア・フェスティバル売上実績：約230万円</li> <li>・累計約27万人の来場者へ会津漆器を効果的にPRできたことで、出展後においても問い合わせが多数あるなど販路拡大に繋がる効果がありました。</li> </ul> <p>2. インテリアライフスタイルにかかる取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会（全7回） 内 容：商品とデザイン、これからの商社の役割、商品価値の向上方法など 参加者：延べ57社</li> <li>・商品開発指導会（全5回） 参加者：延べ12社</li> <li>・インテリアライフスタイルへの出展 期 間：平成27年6月10日～12日（3日間） 場所：東京ビッグサイト 参加企業：8社</li> <li>・フィードバックセミナーの実施（1回） 内 容：産地の紹介方法や商品の見せ方に関する手法について、改善点の整理と解決手法の探究 参加者：8社</li> </ul> <p>[事業成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリアライフスタイルでの商談実績：約197件（商談成立22件）</li> <li>・出展を契機に、介護関係や自動車メーカーなどの今まで取引実績のない業種や企業との商談が成立しました。</li> </ul>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7 款 商工費				
事業名	地場産業振興事業費 (会津清酒消費拡大推進協議会負担金)				
担当課	商工課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
4,500				4,500	
説 明					
○ 【地域外事業】 首都圏の30～40代女性の「会津清酒」ファンづくりを図りました。					
1. 会津清酒ブランディング事業					
首都圏の30～40代の女性をターゲットとした会津清酒ミニイベントを開催					
期間：8月～11月                    回数：5回					
場所：首都圏の飲食店                人数：約150名					
2. 会津清酒フェア事業					
首都圏の30～40代の女性をターゲットとした会津清酒イベントを開催					
日時：平成28年2月18日（木）        人数：約90名					
場所：THE THEATRE TABLE（東京都渋谷区 渋谷ヒカリエ）					
○ 【地域内事業】 地域住民を巻きこんでのイベントの実施や講習会の開催等、会津清酒をテーマとしたおもてなしの舞台づくりを行いました。					
1. 本当においしいお酒がある					
全国新酒鑑評会金賞受賞数三年連続日本一などをPR					
期間：6月～11月                    回数：8回					
場所：「会津フェスタ」開催会場（首都圏、名古屋、京都等）					
2. お酒の楽しみ方がある					
・会津の品格セットの推進、PR					
市長や酒造組合理事長トップセールス時配布					
対象：イオン役員、講習会講師、視察代表者等            個数：30セット					
・会津清酒文化創造推進事業					
成人式における会津清酒のPR					
対象：平成27年8月15日（土）河東地区73名、北会津地区43名					
平成28年1月10日（日）会津若松市904名 合計1,020名					
・会津清酒屋台村の開催（4回）					
日時：平成27年4月4日（土）、4月25日（土）、6月27日（土）、10月23日（金）					
場所：会津若松駅前タクシール、鶴ヶ城二の丸、野口英世青春広場					
人数：合計約1,350名					
3. お酒のことを知っている					
・会津清酒おもてなし講座の開催					
期間：4月～3月            回数：5回            人数：約280名					
・頑固一献講座の開催					
期間：4月～3月            回数：2回            人数：約30名					
[事業成果]					
・地域外事業では、首都圏の30～40代女性の「会津清酒」ファンづくりが図られ、首都圏における会津清酒の効果的な認知度向上に一定の成果を得ることができました。					
・地域内事業では、地域住民を対象とした会津清酒の理解を深める講座等の実施によって、特に飲食店、小売店におけるブランド酒の消費拡大に繋がりました。					



# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款		7款 商工費			
事業名		頑張るものづくり企業支援事業費 (頑張るものづくり企業支援事業実行委員会負担金)			
担当課		企業立地課			
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
1,600		1,600			
説 明					
○ 周辺自治体、民間団体が一体となった実行委員会を組織して事業を行い、会津地域におけるものづくり企業の販路拡大やビジネスマッチングの機会創出に効果がありました。					
<p>[構成団体]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体 会津若松市、喜多方市、会津坂下町、湯川村、会津美里町</li> <li>・民間団体 会津若松商工会議所、会津産業ネットワークフォーラム</li> </ul> <p>[事業内容]</p> <p>会津地域ものづくり企業による首都圏展示会への共同出展を支援し、出展企業の製品や技術のPRを行うことで、販路拡大の機会を創出しました。 また、本市にて、会津地域で初となる、ものづくり企業を対象とする商談会を開催し、会津地域のものづくり企業のビジネスマッチングの機会を創出しました。</p>					
<p>1. 首都圏展示会共同出展支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会名 第19回機械要素技術展</li> <li>・会 期 平成27年6月24日（水）～26日（金）</li> <li>・会 場 東京ビッグサイト（東京都江東区）</li> <li>・主催者 リードエグジビションジャパン株式会社</li> <li>・来場者数等（主催者発表） 来場者数 81,469人（会期全体） 出展企業数 2,230社</li> <li>・共同出展企業 4社</li> <li>・商談件数等 <ul style="list-style-type: none"> <li>名刺交換件数 319件</li> <li>見積依頼件数 52件</li> <li>取引開始件数 2件</li> <li>取引開始金額 約800万円</li> </ul> </li> </ul>					
<p>2. 会津地域ものづくり企業商談会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 平成27年11月5日（木）</li> <li>・会 場 御宿東鳳</li> <li>・参加企業等 <ul style="list-style-type: none"> <li>参加企業数 58社（発注企業22社、受注企業36社）</li> <li>参加者数 100人（発注企業36人、受注企業64人）</li> </ul> </li> <li>・商談件数等 <ul style="list-style-type: none"> <li>商談件数 157件</li> <li>商談成立件数 4件</li> <li>商談成立金額 約560万円</li> <li>商談継続件数 6件</li> <li>商談継続金額 約550万円</li> </ul> </li> </ul>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款		7款 商工費			
事業名		中心市街地活性化事業費 (まちなか賑わいづくりプロジェクト事業負担金)			
担当課		商工課			
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
7,430		7,430			
説明					
<p>○ 中心市街地活性化基本計画に位置付けられた事業を市民協働により継続して実施し、市民や観光客の回遊性・滞留性の向上による交流人口の拡大を図るとともに、地域住民をはじめとした多様な主体のまちなかの賑わいづくりへの参画を促進しました。</p>					
<p>1. まちなか誘導、回遊・交流促進事業</p> <p>まち並み景観に配慮した歩行者向けの分かりやすい「誘導板」の設置と、地域住民にしか知られていないような各エリアの魅力をPRする「案内板」を設置し、まちなか観光や散策を促進することで、回遊・滞留時間の拡大による賑わいを創出しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「案内板」 全5ヶ所（平成26年度から継続 延べ14ヶ所） <ul style="list-style-type: none"> <li>①七日町通り インター南部幹線交差点付近</li> <li>②本町通り ヤマヘイ前</li> <li>③博労町通り イングレーゼ相生そば交差点</li> <li>④博労町通り 若松上町郵便局前</li> <li>⑤会津ふれあい通り 旧星賢跡地</li> </ul> </li> <li>・「誘導板」等 全4ヶ所（平成26年度から継続 延べ11ヶ所） <ul style="list-style-type: none"> <li>①博労町通り 山葵前</li> <li>②博労町通り 会州一蔵前</li> <li>③本町通り せと万陶器店脇</li> <li>④神明・野口英世青春通り 神明神社脇※1</li> </ul> <p>※1 神明通りと野口英世青春通りをつなぐ新たな誘導エリア下地づくり</p> </li> </ul>					
<p>2. まちなか憩いの空間、緑化プロジェクト事業</p> <p>中心市街地への植樹により四季折々の変化を楽しめる新たな潤いや憩いの場を創出し、まちなか散策を促進することで、回遊・滞留時間の拡大を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「植樹」 全5ヶ所（平成26年度から継続 延べ9ヶ所） <ul style="list-style-type: none"> <li>①葵高校第2グラウンド沿道</li> <li>②市役所栄町第二庁舎前ATM脇</li> <li>③七日町通り 市民広場</li> <li>④七日町通り 阿弥陀寺境内</li> <li>⑤神明通り駐車場</li> </ul> <p>※植樹種：ヤマモミジ、イロハモミジ、ドウダンツツジ</p> </li> </ul>					
<p>3. 賑わいづくり人材育成事業</p> <p>講演会や先進地への視察研修を通し、他の都市事例について学ぶ場を設け、市民協働でのまちづくりについて意識向上を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「講演会」 テーマ「モミジによるまちなか景観づくり」</li> <li>・「視察研修」 山形県上山市（武家屋敷通り、十日町商店街） 市民協働による板塀化等による景観向上の取組みや、賑わい創出イベントの視察研修。</li> </ul>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7 款 商工費				
事業名	桜咲く会津プロジェクト推進事業費 (桜咲く会津プロジェクト実行委員会負担金)				
担当課	商工課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
9,959		9,959			
説 明					
<p>○ イオン株式会社との地域貢献協定を活かし、会津地域の農産食品を継続的に全国に流通させていくための各種事業を展開し、販路開拓に努めました。</p> <p>[主な事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国のイオングループ9店舗において会津フェスタを開催              実施期間：平成27年4月～平成28年3月              開催内容：トップセールス、催事、郷土芸能披露、観光PR、地域製品の試食PRなど（全9回）              開催地域：関東7店舗、東海1店舗、関西1店舗</li> <li>・ 商談会の実施              開催回数：10回              開催場所：市内、東京都、千葉県              開催内容：会津地域内企業とイオングループバイヤーとの商談会              参加企業：会津地域内企業延べ70社</li> <li>・ 研究会の開催              開催回数：8回              開催場所：市内              開催内容：「生産量の確保」と「輸出に関するノウハウ不足」といった課題を解決するため、地域内での生産活動を行う農畜産業者、食品加工業者などを対象に研究会を実施しました。</li> <li>・ 人材育成セミナーの実施              開催回数：2回              開催場所：市内              開催内容：イオンの商品開発と衛生管理など              参加者：会津地域内企業延べ52名</li> <li>・ 商談会後の各種フォローアップなど</li> </ul> <p>[事業成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会津フェスタ開催におけるPR者数：約150万人</li> <li>・ 販路拡大：取引企業件数 延べ23社（食品加工業、酒造業など）</li> <li>・ 新たな経済活動の推進：「地域貢献協定」を活かした継続的な全国への流通販売等により、地域経済の活性化を図る新たな仕組みづくりが促進されました。</li> </ul>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7 款 商工費				
事業名	I T 産業振興事業費 (会津 I T 産業振興協議会負担金)				
担当課	商工課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
700		700			
説 明					
<p>○ 市内のベンチャー企業や会津大学等で協議会を設立（平成27年5月）し、I T 人材の育成事業や技術力・商品力の強化事業などに取り組み、本市 I T 産業の振興を図りました。</p> <p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員数 20団体 (企業会員16社、支援機関4機関)</li> <li>・ 設立記念フォーラムの開催 日 時：平成27年7月24日（金）13：30～17：30 場 所：会津大学産学イノベーションセンター 参加数：45名 内 容：首都圏で I T 業界の第一線で活躍している方々の講演と学生を交えたディスカッション</li> <li>・ 各種勉強会、意見交換会 実施回数：全3回 内 容：行政施策の勉強会や地域 I T 業界の動向に係る意見交換を実施 参 加 数：延べ40名</li> <li>・ 地元 I C T 企業紹介ブースへの出展 期 間：平成28年3月12日（土）～29日（火） 場 所：會津稽古堂 市民ギャラリー 参加企業：2社 内 容：チームラボアイランドのイベントに合わせ、ベンチャーブースを出展</li> <li>・ I T を中心としたイノベーションを加速することを目的に設立された一般社団法人未踏との相互協力協定の締結（平成28年3月）</li> </ul> <p>[事業成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織化により、会員間の情報交換や交流の場を創出することで、地元ベンチャー間のネットワークの強化が図られたこと、また、地域外の企業や支援団体等とネットワークが構築できたことで、産学官連携及び I T 産業振興活動の基盤ができました。</li> </ul>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7款 商工費				
事業名	観光誘客メディア戦略事業費 (会津若松フィルムコミッション特別負担金)				
担当課	観光課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
4,524				4,524	
説 明					
<p>○ メディア媒体を通じて本市の観光資源や撮影ロケ地の情報発信について相乗効果を図るため、平成27年度より会津若松フィルムコミッションへ特別負担金を交付し、フィルムコミッション事業と観光誘客メディア戦略（会津侍 若松つつん）事業の連携を行いました。 また、「会津侍 若松つつん」をメディア媒体以外の場面でも活用し、認知度向上に努めました。</p> <p>1. FCと連携してのPR活動</p> <p>① 「会津侍 若松つつん」専用ホームページ、フェイスブック等を活用し、市内撮影の番組放送の紹介や市内観光情報の発信を行いました。</p> <p>2. 情報発信・知名度向上へ向けた取組み</p> <p>① 「会津侍 若松つつん」専用ホームページの新規構築。（1,459千円） ・平成27年9月開設。27年度アクセス数20,227件</p> <p>② うちわをノベルティとして製作し、イベント等で配布しました。（146千円）</p> <p>③ イベントへ直接参加し、SNSを活用したPRを行いました。 ・会津まつり、絵ろうそくまつり、會津十楽、ふくしまDC関連イベント等の投稿を行いました。</p> <p>④ イベント参加用として頭部を増産しました。（216千円）</p> <p>⑤ イベントプロモーション活動（2,160千円） ・会津若松市及び市内イベントのPRを、なんばグランド花月で実施しました。 ・吉本興業HPへのバナー設置、よしもと芸人との交流模様を動画配信しました。</p> <p>⑥ PR映像制作及びSNSでの発信（上記プロモーションと同時実施） ・市内まちなかライトアップ風景のショートムービーを制作し、ホームページで公開しました。</p>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7款 商工費				
事業名	観光振興事業費 (会津十楽 in サムライシティーあいづ負担金)				
担当課	観光課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
6,000		6,000			
説 明					
<p>○ 本市の「サムライシティー」による観光振興を図るため、サムライシティプロジェクト実行委員会へ負担金を交付し、新たな切り口による歴史観光を推進しました。 平成27年度は、ふくしまDESTINATIONキャンペーン開催期間と連携し、4月から6月に拡大し開催しました。</p> <p>[事業内容] 蒲生氏郷公が物産販売と文化的技量の発表の場として実施していた「十楽」を現代風にアレンジし、歴史的な背景を含めた新たな観光資源を創出することで、県内外からの観光誘客を図りました。</p> <p>[実施事業] 1. 鶴ヶ城公園やその周辺を会場に、サムライシティーとしての演出を施した会津の物産販売を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会津十楽春の陣 平成27年4月4日～6月28日までの土日祝日 27日間開催 会場 鶴ヶ城本丸北側 4月来場者数 79,400人 5月来場者数 74,400人 6月来場者数 23,200人</li> <li>・会津十楽夏の陣 平成27年8月13日～16日 会場 東山温泉 来場者数 5,000人</li> <li>・会津十楽秋の陣 平成27年9月20日～23日 会場 東邦銀行会津支店駐車場 来場者数 70,000人</li> <li>・会津十楽冬の陣 平成28年2月11日～14日 会場 鶴ヶ城本丸北側 来場者数 12,600人</li> </ul>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7 款 商工費				
事業名	観光振興事業費 (第34回全国城下町シンポジウム會津大会負担金)				
担当課	観光課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
3,000		3,000			
説 明					
<p>○ 「全国城下町青年会議所連絡協議会」が主催する「全国城下町シンポジウム會津大会」の開催を通し、城下町會津の魅力の発信に努めました。 平成27年度は、「鶴ヶ城天守閣再建50周年」及び「ふくしまデスティネーションキャンペーン」の開催年であることから、これらの取り組みとの相乗効果による観光誘客をめざし、本市の歴史や文化を全国へPRしました。</p> <p>[実施事業]</p> <p>平成27年5月22日（1日目）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成功祈願祭</li> <li>・役員会</li> <li>・前夜祭</li> </ul> <p>平成27年5月23日（2日目）</p> <p>会場：會津風雅堂</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会式</li> <li>・オープニングフォーラム 基調講演「愚直のすすめ」講師 松平 保久 氏</li> <li>・パネルディスカッション パネリスト 松平 保久 氏、中村 彰彦 氏、春風亭 昇太 氏 コーディネーター 柳澤 秀夫 氏</li> </ul> <p>会場：市内各所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一分科会 會津入門バスツアー</li> <li>・第二分科会 家紋スタンプラリー</li> </ul> <p>会場：會津若松市文化センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別講話 「司馬遼太郎からのメッセージ」 講師 司馬遼太郎記念館館長 上村 洋行 氏</li> <li>・パネルディスカッション 「会津と長州から考える日本人の魂（こころ）」 パネリスト 星 亮一 氏、島元 貴 氏 コーディネーター 赤坂 憲雄 氏</li> </ul> <p>会場：鶴ヶ城本丸</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民大交流会</li> </ul> <p>平成27年5月24日（3日目）</p> <p>会場：會津風雅堂</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メインフォーラム 出演者 松平 定知 氏</li> <li>・閉会式</li> </ul>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款		7款 商工費			
事業名		デスティネーションキャンペーン推進事業費			
担当課		観光課			
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
9,587				9,587	
説 明					
<p>○ ふくしまデスティネーションキャンペーン（以下、DC）の本番として、会津若松観光ビューローや会津まつり協会に対し補助金等を交付し、おもてなし等の受入体制の充実をはじめ、県や関係者等と連携して、各種キャンペーンへの参加や、DC企画として位置づけられたイベント等の開催に取り組みました。</p> <p>〔事業内容〕</p> <p>1. 一般財団法人会津若松観光ビューロー補助金 6,936千円          （ふくしまデスティネーションキャンペーン特別補助金）          本市におけるDCを推進する観光・物産事業を以下のとおり実施しました。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手ぶらでまちなか観光事業</li> <li>・ 御三階特別公開事業（DC特別事業）</li> <li>・ お花まつりの開催</li> <li>・ 会津おもてなしイベントでの振舞い 等</li> </ul> <p>2. 会津まつり協会特別負担金 2,546千円          鶴ヶ城公園の桜の開花時期に開催される「鶴ヶ城さくらまつり」にあわせ、DC特別事業として会津茶道会6流派による茶会「鶴ヶ城さくらまつり大茶会」を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日程 平成27年4月26日（日）</li> <li>・ 時間 10：00～15：00</li> <li>・ 場所 鶴ヶ城本丸、御薬園</li> <li>・ 参加者 2,082名</li> </ul>					



# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款		7款 商工費																			
事業名		観光物産復興特別事業費 (会津若松観光ビューロー特別補助金)																			
担当課		観光課																			
決算額	財源内訳																				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源																
13,361				13,361																	
説 明																					
○ 原子力発電所事故による風評の払拭や、冬季の誘客対策、広域観光など、会津若松観光ビューローが重点的に実施する事業に対し、補助を行いました。																					
1. 教育旅行推進事業																					
各県の小中学校、旅行会社の訪問をはじめ、県や教育旅行サポートセンター等と連携し、教育旅行の回復を図りました。																					
・ 学校、旅行エージェント訪問 447件 (学校150校、エージェント297件)																					
〔教育旅行来訪校数推移〕																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校数</th> <th>平成27年度</th> <th>平成26年度</th> <th>対前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県外</td> <td>566校</td> <td>481校</td> <td>117.7%</td> </tr> <tr> <td>県内</td> <td>384校</td> <td>341校</td> <td>112.6%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>950校</td> <td>822校</td> <td>115.6%</td> </tr> </tbody> </table>						学校数	平成27年度	平成26年度	対前年比	県外	566校	481校	117.7%	県内	384校	341校	112.6%	合計	950校	822校	115.6%
学校数	平成27年度	平成26年度	対前年比																		
県外	566校	481校	117.7%																		
県内	384校	341校	112.6%																		
合計	950校	822校	115.6%																		
2. インバウンド推進事業																					
・ 外国語ボランティアガイドの運用を行いました。主に英語や中国語を母国語とする海外のお客様392名をご案内しました。																					
・ 会津若松エリアとして一体的なインバウンド振興を図るため、会津若松市国際観光推進協議会を立ち上げました。																					
・ 国内大手旅行エージェントインバウンド部門の担当者を会津若松へ招聘し、モニターツアーを開催しました。																					
3. エージェント助成金事業																					
冬季における誘客促進のため、エージェントに対し送客実績に応じた助成を行い、誘客増を図りました。																					
助成件数 45件 助成額 4,171千円 送客実数 5,640人																					
4. 広域観光推進																					
新潟市、佐渡市、十日町市等と連携し、誘客イベントや物産キャンペーンに取り組みました。																					
・ 新潟市・佐渡市・十日町市交流事業 観光誘客イベント開催 (大阪府)																					
・ 新潟市・佐渡市・喜多方市・会津若松市交流事業 観光物産キャンペーン開催 (有楽町)																					
5. 物産プロモーション事業																					
首都圏の駅などを活用した物産展を行い、物産振興に努めました。																					
・ DC開幕福島県物産展 仙台駅 (4月)																					
・ 会津物産展 浦和駅 (4月)、上尾駅 (9月)、大宮駅 (12月)、浦和駅 (3月)																					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	7 款 商工費				
事業名	温泉地域活性化推進事業補助金 (震災復興特別分)				
担当課	観光課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
9,295				9,295	

## 説 明

- 東山・芦ノ牧両温泉地域の活性化及び観光振興を促進するため、震災復興特別分として、震災復興のための事業に対する補助金を交付しました。

補助団体	東山温泉観光協会	芦ノ牧温泉観光協会
震災復興特別分	<b>【誘客宣伝事業】</b> ・インバウンド対策として、温泉街パンフレット及びホームページの多言語化（英語・中国語）に取り組みました。  <b>【活性化推進事業】</b> ・温泉街及び湯泉神社付近のボンボリの修繕やガードレール等の塗装を行い、温泉街の魅力向上に取り組みました。	<b>【誘客宣伝事業】</b> ・大手旅行エージェント「じゃらん」（紙媒体・携帯アプリ等）を活用し利用客の拡大に取り組みました。 ・イベントや温泉の質のPRのため、ノベルティとして入浴剤を製作し、キャラバンや商談会等で配布しました。
	<b>【東山温泉・芦ノ牧温泉共同事業】</b> ・両温泉と会津若松のネームバリューを活かし、都内で開催されることの多い旅行エージェントとの商談会を現地で開催しました。 ・冬季誘客に向け、郡山市でキャラバンを行い、観光PRに努めました。 ・東山温泉・芦ノ牧温泉・会津若松観光ビューロー合同で「楽天トラベル」に電子広告展開を行いました。	
	補助額4,500千円	補助額4,795千円

## <温泉入込み>

(単位：人)

	26年	27年	増減
東山温泉	473,889	473,819	△ 70
芦ノ牧温泉	226,426	233,267	6,841
計	700,315	707,086	6,771

※各年 1月～12月

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款		10款 教育費			
事業名		あいづっこ人材育成プロジェクト事業費			
担当課		学校教育課			
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
19,635		19,635			
説明					
<p>○ 会津の優れた先人に憧れ、学び、故郷会津に誇りを持つ人材の育成を目指し、放課後等に個別指導を行う「基礎力アップ大作戦」や、中学生をゆかりの地に派遣する「会津ジュニア大使」などの様々な事業を実施し、子どもたちの可能性を一層引き出す学びの場や、心に残る感動の場を提供しました。</p> <p>〔実施事業及び児童生徒の参加人数等〕</p> <p>① 先輩アスリートから学ぶ～トップランナーへの道～            実施日：平成27年5月24日 のべ参加人数：176名            ・陸上競技場を会場に一流講師を招き、技術向上を図りました。子どもたちにトップクラスのアスリートの走りを実際に見せることで、競技に対する意欲を持たせることができました。</p> <p>② ～グローバルな人間を目指して～ブリティッシュヒルズへGO            実施日：平成27年8月4日～6日 参加人数：65名            ・ブリティッシュヒルズで2泊3日の研修を行い、小学校6年児童を英語だけの環境に置くことで、英語を使うことに抵抗がなくなり、楽しんで英語を使えるようになりました。</p> <p>③ 映画から学ぶ～感動をつくる仕事～            実施日：平成27年8月～10月 参加人数：1,623名            ・映画原作者、出演俳優の講演、映画上映、ワークショップを通して、小・中学生に本物の映像文化に触れ、感性を高める機会を提供するとともに、共同作業のすばらしさや生き方を学ぶ機会となりました。</p> <p>④ 基礎力アップ大作戦            実施期間：夏季休業中～3学期 のべ参加人数：13,502名            ・夏休みや放課後等の時間に退職教職員や大学生等のサポートティーチャーによる個別指導により、きめ細やかな個に応じた指導ができ、生徒たちの基礎力のアップを図ることができました。</p> <p>⑤ 「はてな・ふしぎ」わくわく理数教室            実施日：平成27年6月～12月 参加人数：1,883名            ・著名な天文学者や最先端企業の講師を迎え、理科の不思議さや天文学の楽しさを体験させることで、参加した中学生に理科への興味を持たせるきっかけとすることができました。</p> <p>⑥ こころのふるさと会津～郷土を学ぶ～            実施期間：平成27年5月～平成28年3月 参加人数：1,735名            ・郷土の歴史研究者等を各小中学校に招き、会津の歴史を学ぶことで、身近な会津の歴史をより詳しく理解し、ふるさと会津に誇りを持たせることができました。            また、市内の史跡を実際に目で見て体験する事業として、新たに小学6年生全員を対象に、「会津若松市歴史資料センター（まなべこ）」を拠点とした、院内御廟や鶴ヶ城などの史跡を巡る「まなべこツアー」を実施しました。さらに鶴ヶ城再建50年を記念して「鶴ヶ城俳句コンテスト」を開催したところ1,939作品の応募がありました。</p> <p>⑦ 会津ジュニア大使～会津の元気を全国に発信～            実施日：平成27年8月5日～7日 参加人数：40名            ・中学生をゆかりの地（横須賀市）に派遣し、地元中学生との交流やグループでの発表を通して、全国に向けて会津の元気を発信することができました。また、この活動を通して中学生があらためて、ふるさと会津の良さと歴史の深さを認識することができました。</p>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	10款 教育費				
事業名	コミュニティ活性化のためのICT生涯学習推進事業費				
担当課	生涯学習総合センター				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
1,540		1,540			
説 明					
<p>○ 生涯学習総合センターにおいて、会津大学などと連携を図りながら、ICTに関する講座を開催し、その成果を実生活への利用へと誘導することで、地域コミュニティを活性化し、生涯にわたり学び続ける活力に満ちた会津若松市づくりに取り組みました。 平成27年度は、会津大学と連携して、教授や学生を講師とした5つの講座を、子どもからお年寄りまで、様々な世代に対応した多岐にわたる内容で実施しました。</p> <p>主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で学ぶメディアリテラシー(平成27年7月25日、8月1日) 受講者数：延べ29名 内容：小学生とその保護者を対象としたICT全般の初歩的学習 ブロック遊びなど簡単なプログラミングを体験し、正しいプログラムと操作の必要性に触れた上で、インターネットの利用に潜む危険性や安心・安全に利用するための決まり事などを保護者と一緒に考え、家庭でのICTとの向き合い方を学びました。参加者からは、「論理的に考えながらインターネットと向き合うことが重要だと分かった」といった意見が多く寄せられました。</li> <li>・インターネットセキュリティー対策講座(平成27年9月6日) 受講者数：7名 内容：ウイルスに関する基礎知識や感染した場合の対応などの専門的学習 SNSのアカウントの乗っ取りやコンピュータウイルスの被害が、セキュリティー対策ソフトだけでは防ぎきれない事実や、ICTを活用したパスワードの管理方法など、普段から習慣付けておく対策の重要性を学びました。</li> <li>・0(ゼロ)から学ぶSNS(平成27年10月24日) 受講者数：31名 内容：SNSに関する基礎知識、操作方法の学習と、SNSによるコミュニティ形成の学習 SNSとは何か、始めるにあたっての注意点や個人情報の重要性を学びました。SNSのメリット・デメリットを理解できたと感じた方が多くおり、その上でSNSの利用を検討するなど、SNSを始めるきっかけ作りとなりました。</li> <li>・メディア活用塾(平成27年11月14日) 受講者数：延べ9名 内容：既存メディアやインターネット等の近年のメディアの特性理解と利活用の学習 メディアによって情報の鮮度の違いやタイムラグが生じる問題などを踏まえ、情報を提供する側の取り扱い方や、災害時に必要な情報の収集方法など、市民生活に重要なメディアの活用術を学びました。参加者からは、「実際に災害時の情報収集にあたった講師の体験を交えての講座は、説得力があって良かった」などの感想が寄せられました。</li> <li>・はじめてのタブレット(平成27年11月22日・29日、12月5日) 受講者数：延べ37名 内容：タブレット端末の初心者に対する説明、実機操作 参加者の大半が高齢者でしたが、タブレットの起動方法、画面のタッチ方法など基礎知識はもとより、コミュニケーションツールとしての役割も学ぶことができました。参加者からは、「はじめてタブレットに触れたが、説明が噛み砕かれたもので初心者にも分かりやすかった」との感想が多く寄せられました。</li> </ul>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	10款 教育費				
事業名	子どものことばの力・まなびの力育成事業費				
担当課	生涯学習総合センター				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
5,887		5,887			
説 明					
<p>○ 「ことばの力」を使って子どもたちの思考力・判断力・表現力等を育み、優れた人材を育成するための読書活動事業に、ボランティアや大熊町と連携のもと取り組みました。</p> <p>【実施事業及び児童生徒の参加人数等】</p> <p>①第2回会津図書館を使った調べる学習コンクール 表彰式：平成27年11月21日 応募作品数：46作品 参加小学校数：16校 小学生を対象とし、図書館を利用して調べた成果をまとめた作品を募集し、当コンクールにおいて16点を表彰しました。入賞作品から全国コンクールへ推薦した2作品は、昨年度に引き続き奨励賞と佳作に入賞しました。 また、大熊町の小学校と連携して合同研修会や合同入賞作品展を開催し、広く事業展開を図りました。 第1回と比較し、応募作品数と参加小学校数も伸びており、子どもたちの調べる力の向上とともに、本を読み、深く考え、言葉を選び、自分の考えをまとめる能力の向上を図ることができました。</p> <p>②第2回会津ビブリオバトル（知的書評合戦） 実施日：平成27年12月23日 参加者：中学生18名（中学校6校）高校生12名（高校5校） 中高生を対象とし、本の魅力や感じた思いを発表することで、論理的思考力・表現力、プレゼンテーション能力の向上が図られました。決戦を一般公開とし、中高生は緊張の面持ちながらも、工夫した身振りや語り口で発表しており、本を通じた人との交流や新たな読書活動が推進されました。 また、ビブリオバトル本の展示をティーンズコーナーにおいて行い、多くの利用者から好評をいただきました。</p> <p>③読み聞かせの推進 ボランティアの協力のもと、子育てにおける絵本の読み聞かせの大切さについて実践を交えながら伝え、親子のコミュニケーションツールとしての啓発を図りました。 ・7か月児離乳食教室において読み聞かせ 実施回数：24回 参加者：のべ親子数592組 ・赤ちゃんおはなし会 実施回数：24回 参加者：のべ親子数159組</p> <p>④児童書、ティーンズ図書の充実 子どもたちの読書活動を支援し、誇りと自信をもって未来へ羽ばたく子どもたちを育てるため、児童書、ティーンズ向けの図書の充実を図りました。 購入冊数：児童書1,914冊 ティーンズ図書1,059冊</p>					

【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款		10款 教育費			
事業名		ひがし地域交流館活動事業費			
担当課		東公民館			
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
465		465			
説 明					
○ 地域交流館～ひがしカフェ～					
<p>〔目的〕                  地域課題として挙げられていた高齢者や団塊の世代（特に男性）の外出促進のため、だれでも気軽に集まれる拠点づくりの一環として、東公民館の日本間を月2回定期的に開放し、交流の場を提供しました。また、共に楽しめるミニコンサートや、健康維持のための軽体操、なりすまし詐欺防止の講話など、高齢者にとっての身近な課題についても情報提供に努め、当初の目標としていた1回あたりの参加人数20名を大きく上回る約40名の参加を得ることができました。</p> <p>〔実績〕                  平成27年度開催回数 24回                  延べ参加者数 958名（1回あたり 約40名）                  最終開催時登録者数 107名</p>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	10款 教育費				
事業名	歴史資料センター開館準備経費				
担当課	文化課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
4,996		4,996			
説 明					
<p>○ 「先人に憧れ、郷土に誇りを持つ学びの場」をコンセプトに、平成26年7月に仮オープンした「会津若松市歴史資料センター」において、新たに企画展示室や講義・学習コーナーを設置するなど、施設の整備を図り、平成27年9月13日にグランドオープンしました。</p> <p>歴史文化に関する資料などの展示や、パネル等を使った解説により歴史資料を公開するとともに、講演会や体験講座を開催するなど、歴史文化への意識高揚に努め、資料の公開、保管、調査、研究の拠点施設として整備に努めました。</p>					
<p>1. 平成27年度来館者数 7,921名</p>					
<p>2. グランドオープンイベント（平成27年9月13日）</p>					
<p>①記念講演会「彗星と会津藩日新館天文台」 参加者 120名</p>					
<p>講師：国立東京天文台副台長 渡部 潤一</p>					
<p>②歴史文化講座「鶴ヶ城と日新館を歩こう」 参加者 30名</p>					
<p>3. 企画展示（平成27年9月～平成28年3月）</p>					
<p>「近代会津若松のあゆみ」</p>					
<p>4. 常設展示（平成27年9月～平成28年3月）</p>					
<p>①錦絵から見る幕末から明治</p>					
<p>②出土品に描かれた人物と動物</p>					
<p>③人物顕彰（蒲生忠郷、佐藤豊助、日清、日下義雄）</p>					
<p>④磐越西線の愛称列車</p>					
<p>5. 歴史文化講座</p>					
<p>・「番付で見る江戸時代の会津の名産特産品」 (平成27年5月16日 参加者 59名)</p>					
<p>・「不思議発見！鶴ヶ城周辺の城下町を歩こう」 (平成27年7月20日 参加者 30名)</p>					
<p>・「縄文土器に触れてオリジナルのしおりを作ろう」 (平成27年8月9日 参加者 10名)</p>					
<p>・「若松城と日新館天文台跡を歩こう」 (平成27年10月25日 参加者 30名)</p>					
<p>・「不思議発見！お城に行こう」 (平成27年11月29日 参加者 30名)</p>					
<p>・「ぼち袋を作ろう」 (平成27年12月23日 参加者 30名)</p>					
<p>・「古写真に見る会津若松」とギャラリートーク (平成28年2月14日 参加者 50名)</p>					

# 【汗動・協働・創造枠】

(単位：千円)

款	10款 教育費				
事業名	復興シンボル・スポーツイベント支援事業費 (鶴ヶ城ハーフマラソン大会実行委員会特別負担金)				
担当課	スポーツ推進課				
決算額	財源内訳				
	国県支出金	復興基金 繰入金	寄附金	震災復興 特別交付税	一般財源
8,274		8,274			
説 明					
<p>○ マラソンを通して、参加者相互の親睦を深めながら、体力の維持・向上及び健康増進を図るとともに、会津の復興を内外に示すためのシンボリックな事業と位置づけ、観光誘客と地域振興を目的として開催しました。</p> <p>第27回大会は、過去最高の6,106名の参加があり、復興に向けての本市のイメージの向上とともに、スポーツ振興を図ることができました。</p> <p>実施大会名：鶴ヶ城ハーフマラソン大会  参加者数：6,106人（前回大会：5,572名）  参加状況：県外1,164人（前回848人）、県内4,942人（前回4,724人）、  うち市内2,890人（前回2,697人）</p> <p>主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京マラソンと提携し、20名のランナーを推薦しました。</li> <li>・ハーフの部は日本陸上競技連盟公認大会として開催しました。</li> <li>・大会当日に向けたランニング講習会を開催しました。 6回 計147名  参加状況：第1回目（18名）、第2回目（18名）、第3回目（26名）  第4回目（42名）、第5回目（20名）、第6回目（23名）</li> <li>・参加者向けの宿泊パック・高速バスチケット付き宿泊パックを設けました。  利用状況：宿泊パック215名（前回186名）、高速バス宿泊パック33名（前回30名）</li> <li>・クーポン付きガイドブックを作成し参加者へ配付することで、食のPR等を展開しました。</li> <li>・あいづ食の陣と連携し、給水所でミニトマトを提供しました。</li> </ul> <p>前回からの改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハーフ部門の距離表示を正確に掲示し、ランナーのストレスを軽減するとともに、より円滑な大会運営を行いました。</li> <li>・スタッフの役割分担を明確化し、大会運営の安定と各セクションの業務効率の向上を図りました。</li> </ul> <p>広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内及び近県の大手スポーツ用品店や大手スポーツジムへ要項を送付しました。</li> <li>・ホームページ・フェイスブックを活用しリアルタイムで大会情報を発信しました。</li> <li>・テレビ、新聞、ランニング雑誌への広告掲載を行いました。</li> <li>・首都圏で大会PR大使とともにPRイベントを開催しました。</li> </ul>					



## 主要な施策の成果（特別会計）

# 会津若松市国民健康保険特別会計

## 2 款 保険給付費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																																							
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																																				
保険給付費 (国保年金課)	8,502,727	2,813,428		3,100,194	2,589,105																																				
説 明																																									
<p>○ 国民健康保険法に基づく医療給付事業（現物給付・現金給付）を行い、被保険者の健康保持を図るとともに、高額療養費の給付により被保険者負担の軽減を図りました。 また、出産育児一時金の給付により妊産婦及び乳幼児の健康増進を図るとともに、葬祭費の給付を行うことで葬祭費用負担の軽減を図りました。</p>																																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">事業名</th> <th style="width: 30%;">内 訳</th> <th style="width: 30%;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般被保険者療養給付費</td> <td>現物給付</td> <td>6,920,814 千円</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等療養給付費</td> <td>現物給付</td> <td>523,920 千円</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者療養費</td> <td>現金給付</td> <td>25,614 千円</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等療養費</td> <td>現金給付</td> <td>1,762 千円</td> </tr> <tr> <td>一般被保険者高額療養費</td> <td>現物・現金給付</td> <td>872,676 千円</td> </tr> <tr> <td>退職被保険者等高額療養費</td> <td>現物・現金給付</td> <td>83,316 千円</td> </tr> <tr> <td>移送費</td> <td>現金給付</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>出産育児一時金</td> <td>109 件</td> <td>43,509 千円</td> </tr> <tr> <td>葬祭費</td> <td>199 件</td> <td>5,970 千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>25,146 千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td>8,502,727 千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	内 訳	金 額	一般被保険者療養給付費	現物給付	6,920,814 千円	退職被保険者等療養給付費	現物給付	523,920 千円	一般被保険者療養費	現金給付	25,614 千円	退職被保険者等療養費	現金給付	1,762 千円	一般被保険者高額療養費	現物・現金給付	872,676 千円	退職被保険者等高額療養費	現物・現金給付	83,316 千円	移送費	現金給付	0 千円	出産育児一時金	109 件	43,509 千円	葬祭費	199 件	5,970 千円	その他		25,146 千円	合 計		8,502,727 千円
事業名	内 訳	金 額																																							
一般被保険者療養給付費	現物給付	6,920,814 千円																																							
退職被保険者等療養給付費	現物給付	523,920 千円																																							
一般被保険者療養費	現金給付	25,614 千円																																							
退職被保険者等療養費	現金給付	1,762 千円																																							
一般被保険者高額療養費	現物・現金給付	872,676 千円																																							
退職被保険者等高額療養費	現物・現金給付	83,316 千円																																							
移送費	現金給付	0 千円																																							
出産育児一時金	109 件	43,509 千円																																							
葬祭費	199 件	5,970 千円																																							
その他		25,146 千円																																							
合 計		8,502,727 千円																																							

## 3 款 後期高齢者支援金等

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳											
		国県支出金	地方債	その他	一般財源								
後期高齢者支援金等 (国保年金課)	1,690,286	813,294		752,486	124,506								
説 明													
<p>○ 高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、後期高齢者医療制度に対して、医療費及び事務費等を拠出しました。</p>													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">事業名</th> <th style="width: 60%;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後期高齢者支援金</td> <td>1,690,170 千円</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者関係事務費拠出金</td> <td>116 千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,690,286 千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	金 額	後期高齢者支援金	1,690,170 千円	後期高齢者関係事務費拠出金	116 千円	合 計	1,690,286 千円
事業名	金 額												
後期高齢者支援金	1,690,170 千円												
後期高齢者関係事務費拠出金	116 千円												
合 計	1,690,286 千円												

## 6款 介護納付金

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳							
		国県支出金	地方債	その他	一般財源				
介護納付金 (国保年金課)	737,937	380,482			357,455				
説 明									
○ 介護保険法に基づき、介護納付金を支出しました。									
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護納付金</td> <td>737,937千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	金額	介護納付金	737,937千円
事業名	金額								
介護納付金	737,937千円								

## 8款 保健事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																											
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																								
保健事業費 (国保年金課)	120,301	46,712		90	73,499																								
説 明																													
○ 国民健康保険制度の更なる周知を図るため、国民健康保険証や高齢受給者証の更新時にあわせてパンフレットを送付しました。 食を通じた健康づくりの推進を図るため、野菜多め、塩分控えのメニューを提供する店舗の取組を紹介するチラシを作成し、新聞折込により配布することで、食に関する知識の普及と意識向上を図りました。 また、福島県保健衛生協会及び会津若松医師会に委託し、特定健康診査を実施しました。																													
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>内 容</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国民健康保険制度パンフレット購入</td> <td></td> <td>1,491千円</td> </tr> <tr> <td>食環境整備事業</td> <td>食育啓発チラシ新聞折込</td> <td>732千円</td> </tr> <tr> <td>医療費等通知</td> <td></td> <td>6,039千円</td> </tr> <tr> <td>特定健診等委託（集団健診）</td> <td>受診者 3,436人</td> <td>28,762千円</td> </tr> <tr> <td>特定健診等委託（施設健診）</td> <td>受診者 7,170人</td> <td>67,365千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>15,912千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>120,301千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	内 容	金 額	国民健康保険制度パンフレット購入		1,491千円	食環境整備事業	食育啓発チラシ新聞折込	732千円	医療費等通知		6,039千円	特定健診等委託（集団健診）	受診者 3,436人	28,762千円	特定健診等委託（施設健診）	受診者 7,170人	67,365千円	その他		15,912千円	合 計		120,301千円
事業名	内 容	金 額																											
国民健康保険制度パンフレット購入		1,491千円																											
食環境整備事業	食育啓発チラシ新聞折込	732千円																											
医療費等通知		6,039千円																											
特定健診等委託（集団健診）	受診者 3,436人	28,762千円																											
特定健診等委託（施設健診）	受診者 7,170人	67,365千円																											
その他		15,912千円																											
合 計		120,301千円																											

# 会津若松市湊町簡易水道事業特別会計

## 1 款 水道事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																																	
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																														
簡易水道の維持管理に要する経費 (健康増進課)	3,326				3,326																														
説 明																																			
○ 健康で快適な生活を送ることができるように、効率的かつ健全な業務運営を行い、生活用水・その他の浄水を供給しました。																																			
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>給水人口</td> <td>227人</td> </tr> <tr> <td>給水件数</td> <td>94件</td> </tr> <tr> <td>有収水量</td> <td>19,243m<sup>3</sup></td> </tr> </table>						給水人口	227人	給水件数	94件	有収水量	19,243m <sup>3</sup>																								
給水人口	227人																																		
給水件数	94件																																		
有収水量	19,243m <sup>3</sup>																																		
営繕費 (健康増進課)	2,037				2,037																														
説 明																																			
○ 安心して飲める水を安定して供給するため、施設の修理を行いました。																																			
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 150px;">施設修理</td> <td style="width: 100px;">4件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 下馬渡配水池法面修繕</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>107千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 東田面地内漏水修理工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>219千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 東田面配水池フェンス設置工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>987千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 下馬渡導水仮設管布設工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>724千円</td> <td></td> </tr> </table>						施設修理	4件					・ 下馬渡配水池法面修繕				107千円		・ 東田面地内漏水修理工事				219千円		・ 東田面配水池フェンス設置工事				987千円		・ 下馬渡導水仮設管布設工事				724千円	
施設修理	4件																																		
・ 下馬渡配水池法面修繕				107千円																															
・ 東田面地内漏水修理工事				219千円																															
・ 東田面配水池フェンス設置工事				987千円																															
・ 下馬渡導水仮設管布設工事				724千円																															

# 会津若松市西田面簡易水道事業特別会計

## 1 款 水道事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
簡易水道の維持管理に要する経費 (健康増進課)	2,359				2,359

### 説 明

- 健康で快適な生活を送ることができるように、効率的かつ健全な業務運営を行い、生活用水・その他の浄水を供給しました。

給水人口	230人
給水件数	63件
有収水量	30,270m <sup>3</sup>

# 会津若松市観光施設事業特別会計

## 2 款 若松城天守閣費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
若松城天守閣管理運営費 (観光課)	29,624				29,624
説 明					
<p>○ 天守閣内に展示するための文化財を借用し、謝礼金を支出しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報償費 2,184千円</li> <li>・ 文化財借用件数 32件 (105点)</li> </ul> <p>○ 指定管理者である一般財団法人会津若松観光ビューローに対して、若松城の利用促進に係る委託料を支出しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若松城天守閣等利用促進等業務委託料 22,730千円</li> </ul> <p>＜主な事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページ・SNS等を活用してPRの強化を図りました。 平成27年度ホームページアクセス数：410,017件</li> <li>・ 旅行商品造成、天守閣再建50周年記念等のPRに向けて、旅行エージェントの訪問活動を実施しました。 訪問先：仙台市、首都圏、静岡市、名古屋市、金沢市、大阪市 総訪問数：570件</li> <li>・ 誘客推進のため、広告宣伝事業を実施しました。 東武鉄道首都圏沿線駅貼ポスター広告を実施 期間：平成27年10月12日～26日</li> <li>・ ボランティアガイドの充実強化を図りました。 4月～11月に「駅からまちなかガイド歴史散策」を実施 利用件数及び人数：63件1,560名</li> <li>・ レンタサイクルを実施しました。 ステーション：鶴ヶ城、御薬園、会津町方伝承館、飯盛山 利用台数：2,198台</li> </ul> <p>○ 若松城天守閣等の毀損箇所を修繕し、安全性や利便性の向上を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若松城天守閣入り口階段改修工事 724千円</li> <li>・ 若松城天守閣外瓦修理工事 1,026千円</li> <li>・ 若松城天守閣走長屋非常用照明設置工事 417千円</li> </ul>					

## 2款 若松城天守閣費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
天守閣再建50周年記念事業費 (観光課)	22,334				22,334
説 明					
<p>○ 「鶴ヶ城天守閣再建50周年記念事業実行委員会」による各種記念事業を通し、鶴ヶ城に対する市民意識の醸成を図るとともに、50周年を契機とした観光誘客に取り組みました。</p> <p>[主な事業実績]</p> <p>1. 鶴ヶ城天守閣リニューアルオープニングセレモニー 【実施日：平成27年4月1日（水）】 50周年に合わせて、11年ぶりにリニューアルした天守閣展示のオープニングセレモニーや、LED利用による天守閣照明リニューアルの点灯式を実施しました。</p> <p>2. 鶴ヶ城天守閣再建50周年記念式典 【実施日：平成27年9月19日（土）】 鶴ヶ城天守閣再建50周年を記念し、鶴ヶ城お誕生会、記念式典、基調講演を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鶴ヶ城お誕生会 会場：鶴ヶ城本丸 来場者：約1,800人</li> <li>・ 記念式典 会場：會津風雅堂 来場者：約1,000人</li> <li>・ 基調講演 テーマ：「八重の桜に込めた会津の心 ～道を切り拓いて生きる～」 講 師：大河ドラマ「八重の桜」脚本家 山本 むつみ 氏</li> <li>・ パネルディスカッション テーマ：「鶴ヶ城に思いをはせて」</li> </ul> <p>3. 鶴ヶ城天守閣再建50周年記念講演会 【実施日：平成28年3月27日（日）】 鶴ヶ城天守閣再建50周年記念事業の締めくくりとして、記念講演会を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記念講演会 会 場：会津若松市文化センター 来場者：約350人 テーマ：「鶴ヶ城の魅力を知ろう！！」 講 師：城郭考古学者 奈良大学学長 千田 嘉博 氏</li> </ul> <p>4. 記念映像制作事業 鶴ヶ城を核とした、本市の歴史的変遷や魅力を映像化した記念映像を制作しました。 また、映像制作と同時に30分番組が制作され、全国各地で放送されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記念映像「想いつなげて」（22分映像）</li> <li>・ T U F 番組「唐橋ユミがたどる会津歴史ロマン」 放送実績 8件（北海道、青森、山形、岩手、福島、長野、島根、高知）</li> </ul> <p>5. 記念誌発行事業 50周年記念誌を発行し、式典来場者等に配布することで、鶴ヶ城の魅力発信に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記念誌 2,800部</li> </ul> <p>6. 市民の機運醸成事業 関係機関と連携し、市民の機運醸成を図る事業を展開しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名刺用シール作成 10,000枚</li> <li>・ 本庁舎看板掲出</li> </ul> <p>7. 情報発信事業 市政だより、ホームページ、新聞等を活用し積極的な情報発信に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市政だより : 8月号（記念式典）、9月号（4ページ特集記事）</li> <li>・ 市ホームページ：トップページに記念事業を掲載。</li> <li>・ Y o u T u b e : 鶴ヶ城の歴史と天守閣再建の記録映像を公開。</li> <li>・ 新聞 : 1ページのカラー広告記事掲載（福島、宮城、山形、新潟、栃木、群馬、茨城） 記念式典チラシを新聞折り込みで全戸配布</li> </ul>					

### 3 款 若松城整備費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
史跡若松城跡ライトアップ委託経費 (観光課)	12,936				12,936
説 明					
<p>○ 史跡若松城跡ライトアップ業務            史跡若松城跡の桜をはじめ、石垣やお濠、廊下橋などを、桜の開花期間に合わせ、節電に配慮したLED照明を使用してライトアップし、夜間の魅力創出に努めることで集客増が図られました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期間 平成27年4月10日～5月6日</li> <li>・ 委託先 株式会社目黒工業商会</li> <li>・ 委託料 8,940千円</li> <li>・ ライトアップ点灯時間中の鶴ヶ城公園来場者数 30,418人</li> </ul> <p>○ 史跡若松城跡紅葉ライトアップ業務            秋の鶴ヶ城公園の魅力向上のため、紅葉期間に公園内のライトアップを実施して魅力創出に努め、夜間の集客増が図られました。会津若松観光ルネッサンス協議会のまちなかライトアップ事業と連携してPRに努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期間 平成27年10月23日～11月15日</li> <li>・ 委託先 焰光景デザイン</li> <li>・ 委託料 3,996千円</li> <li>・ ライトアップ点灯時間中の鶴ヶ城公園来場者数 2,645人</li> </ul>					



# 会津若松市下水道事業特別会計

## 1 款 下水道事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
建設改良事業費 2項 下水道建設費 (下水道課)	1,005,058	381,380	551,800	53,651	18,227

### 説明

- 汚水管整備等を実施することにより、供用区域の拡大に努めました。  
また、浸水被害の軽減を図るため、大町1号及び小田1号雨水幹線の整備を行いました。

#### 1. 整備面積

処理区	今年度 整備面積	累計 整備面積	全体 計画面積	面積 整備率
会津若松処理区	10.8 h a	1,551.8 h a	2,379.0 h a	65.2%
北会津北部処理区	0.0 h a	123.0 h a	123.0 h a	100.0%
河東処理区	2.6 h a	158.0 h a	216.0 h a	73.1%
合計	13.4 h a	1,832.8 h a	2,718.0 h a	67.4%

#### 2. 主な事業

事業内容		事業概要	金額
(汚水)	管理設等工事	Φ150～400mm L=3,510.20m	538,707千円
	その他の工事	公共汚水ます設置等	49,300千円
	設計委託等	下水道管理設等に伴う実施設計委託等	56,126千円
	北会津北部 浄化センター 実施設計委託	汚泥脱水設備増設等に伴う実施設計委託	7,810千円
	補償費	水道管及びガス管移設等補償	34,280千円
(雨水)	管理設等工事	□1000～1200mm×1000mm L=266.30m	183,013千円
	その他の工事	機能補完工事	745千円
	設計委託等	公共下水道変更認可計画基本調査委託等	13,558千円
	補償費	水道管移転補償	3,975千円
(長寿命化)	下水浄化工場改築 工事等	汚泥脱水設備更新 (H26～27)	114,250千円
		用水設備更新	3,294千円

他に次年度への繰越 164,500千円

# 会津若松市地方卸売市場事業特別会計

## 1 款 地方卸売市場事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地方卸売市場事業費 (農政課)	154,122			37,377	116,745

### 説明

○ 市場運営の円滑化及び施設設備の長寿命化を目的に改修工事を実施しました。

工事名	金額
公設地方卸売市場青果棟北側外周路外改修工事	17,097千円
公設地方卸売市場水産棟シャッター改修工事	3,564千円
公設地方卸売市場冷蔵庫・加工施設扉外改修工事	3,456千円
公設地方卸売市場青果棟軽量バランスシャッター改修工事外4件	3,987千円
合計	28,104千円

○ 市場運営を通して、市民に対する生鮮食料品などの安定供給を図りました。

平成27年度の卸売に係る取扱実績は下記のとおりです。

[青果部] (単位：t)

区分	野菜	果実	加工	合計
地場	3,012	919	98	4,029
移入	10,366	4,606	618	15,590
小計	13,378	5,525	716	19,619

[水産物部] (単位：t)

区分	鮮魚	太物	塩干	加工	冷凍	冷食	食品	合計
移入	1,214	160	1,112	3,000	638	2,334	2,139	10,597

[花き部] (単位：千本・鉢)

区分	切花	枝物	鉢物	葉物	加工	その他	合計
地場	623	24	46	142	270	12	
移入	2,461	60	147				
小計	3,084	84	193	142	270	12	3,785

[関係業者]

卸売業者	・ 青果部 2社	・ 水産物部 2社	・ 花き部 1社
仲卸業者	・ 青果部 4社	・ 水産物部 4社	
関連事業者	8社		
附属機関	2社		

○ 開設40周年記念事業の開催を支援しながら、市場の役割及び指定管理者制度の導入に向けたPRを行いました。

- 市場まつり：開催日 平成27年10月4日
  - ・ 来場者数 6,500人
  - ・ 内容 模擬セリ、即売会、マグロの解体実演販売、「市場のしおり」の配布他
- 記念式典及び祝賀会：開催日 平成27年10月6日

# 会津若松市扇町土地区画整理事業特別会計

## 1 款 土地区画整理事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
扇町土地区画整理事業費 2項 土地区画整理事業費 (区画整理課)	340,417	7,600	158,700	174,117	

### 説明

○ 土地区画整理事業の推進を図ることにより、良好な住環境の整備に努めました。

#### 1. 工事請負費

内 容	事業量	金額
区 画 道 路	414.5m	48,164千円
宅 地 造 成	16,228.6m <sup>2</sup>	44,895千円
そ の 他 の 工 事		8,028千円

#### 2. 委託料

内 容	事業量	金額
測量及び設計業務	3件	6,272千円
物件調査及び補償額算定業務	3件	2,938千円
施設内維持管理	4件	7,122千円

#### 3. 補償補てん及び賠償金

内 容	事業量	金額
物件移転補償等	52件	218,836千円

# 会津若松市農業集落排水事業特別会計

## 1 款 農業集落排水事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
農業集落排水事業費 2項 建設費 (下水道課)	84,699	33,489	45,900	1,863	3,447

### 説明

○ 北会津西部地区の污水管整備を実施することにより、供用区域の拡大に努めました。なお、平成14年度から進めてきた同地区の整備は、今年度をもって完了しました。

#### 1. 整備面積

地区	今年度 整備面積	累計 整備面積	全体 計画面積	面積 整備率
北会津西部地区	7.0 h a	179.4 h a	179.4 h a	100.0 %

#### 2. 主な事業

事業内容	事業概要	金額
管理設等工事	管路施設 L = 687.6m、公共污水ます設置等	82,921千円
設計委託等	舗装本復旧工事实施設計業務委託等	788千円

# 会津若松市介護保険特別会計

## 2 款 保険給付費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
保険給付費 (高齢福祉課)	9,754,089	3,872,676		2,774,439	3,106,974
説 明					
○ 介護サービス等諸費 介護保険法に基づき、要介護者に対して介護給付事業を実施し、被保険者の福祉の向上を図りました。					
・ 保険給付額 8,564,864千円					
○ 介護予防サービス等諸費 介護保険法に基づき、要支援者に対する予防給付事業を行い、被保険者の保健医療の向上、福祉の向上を図りました。					
・ 保険給付額 596,965千円					
○ 高額介護サービス等費 高額介護サービス費を給付し、被保険者負担の軽減を図りました。					
・ 保険給付額 167,403千円					
○ 高額医療合算介護サービス等費 介護保険と医療保険の高額負担者に対して、高額医療合算介護サービス費を給付し、被保険者負担の軽減を図りました。					
・ 保険給付額 17,987千円					
○ 諸費					
・ 審査支払手数料 9,343千円					
○ 特定入所者介護サービス等費 施設入所者の居住費と食費の自己負担分に関して、低所得の入居者に対して補足給付を行うことにより負担の軽減を図りました。					
・ 保険給付額 397,527千円					



# 会津若松市個別生活排水事業特別会計

## 1 款 個別生活排水事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
個別生活排水事業費 2項 施設整備費 (下水道課)	98,519	19,165	67,300	5,529	6,525

### 説明

- 浄化槽による生活排水処理を推進する地域において、計画的な整備を図るため、市が設置主体となり浄化槽の整備を行いました。

#### ・主な事業

事業内容	事業概要	金額
浄化槽設置工事	42基 (内訳) 5人槽 12基 7人槽 28基 10人槽 2基	92,929 千円

# 会津若松市三本松地区宅地整備事業特別会計

## 1 款 宅地整備事業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
三本松宅地整備事業費 (都市計画課)	782				782

### 説 明

- 北会津地域の均衡ある発展と地元経済の活性化のための住宅地分譲事業であり、平成20年度において完売した分譲地の維持管理等を行い、良好な宅地環境の向上に努めました。

・ 委託料

内 容	事 業 量	金 額
分筆登記業務委託	1件	273千円
除草業務委託	2件	207千円
水質検査業務委託	2件	249千円



# 会津若松市後期高齢者医療特別会計

## 2 款 後期高齢者医療広域連合納付金

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
後期高齢者医療広域連合納付金 (国保年金課)	1,161,629				1,161,629

### 説 明

- 福島県後期高齢者医療広域連合により運営されている後期高齢者医療制度の円滑な受診環境整備のため、広域連合に対し、保険基盤安定負担金及び保険料を納めました。

事業名	金額
後期高齢者医療保険基盤安定負担金	307,320 千円
後期高齢者医療保険料等負担金	854,309 千円
合 計	1,161,629 千円

# 平成27年度 基金運用状況報告書

平成27年度の基金の運用状況について、地方自治法第241条第5項の規定により提出する。

平成28年9月1日

会津若松市長 室井照平

# 平成 27 年 度 会津若松市板橋好雄奨学資金貸与基金運用状況

この基金は、地方自治法第241条第1項の規定に基づき、板橋好雄氏からの寄付金を奨学金に充てることを目的として設置したものでありますが、平成27年度の運用状況は次のとおりです。

## ○板橋好雄奨学資金貸与基金

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	6,187,285 円	△ 652,414 円	5,534,871 円
貸 付 金	5,696,000 円	654,000 円	6,350,000 円
そ の 他	0 円	0 円	0 円

## ○第1表

年 度	基金積立状況		前期末基金 現金残高	基金貸付返還状況				貸付返還後の 基金現金残高	貸 付 金 現 在 高
	年 月 日	基金総額		貸 付		返 還			
				件数	金 額	件数	金 額		
21	22.3.31 現 在	円 11,870,195	円 9,704,897	件 0	円 0	件 22	円 870,000	円 10,585,195	円 1,285,000
22	23.3.31 現 在	円 11,875,033	円 10,585,195	件 4	円 2,000,000	件 20	円 255,000	円 8,845,033	円 3,030,000
23	24.3.31 現 在	円 11,877,750	円 8,845,033	件 2	円 1,000,000	件 19	円 170,000	円 8,017,750	円 3,860,000
24	25.3.31 現 在	円 11,879,767	円 8,017,750	件 2	円 1,000,000	件 16	円 195,000	円 7,214,767	円 4,665,000
25	26.3.31 現 在	円 11,881,599	円 7,214,767	件 2	円 1,000,000	件 26	円 232,000	円 6,448,599	円 5,433,000
26	27.3.31 現 在	円 11,883,285	円 6,448,599	件 2	円 1,000,000	件 23	円 737,000	円 6,187,285	円 5,696,000
27	28.3.31 現 在	円 11,884,871	円 6,187,285	件 2	円 1,000,000	件 37	円 346,000	円 5,534,871	円 6,350,000

○第2表

年月日	基金管理状況					備考
	現金	銀行預金	貸付金	その他	現金運用	
27.4.1	円 0	円 6,187,285	円 5,696,000	円 0	円 0	基金総額 11,883,285円
27年 4月分	0	6,214,285	5,669,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 2件 27,000円
27年 5月分	0	6,226,285	5,657,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 2件 12,000円
27年 6月分	0	6,243,285	5,640,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 2件 17,000円
27年 7月分	0	6,255,285	5,628,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 2件 12,000円
27年 8月分	0	6,267,303	5,616,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 2件 12,000円 普通預金預け入れ 利子分 18円
27年 9月分	0	6,300,078	5,584,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 3件 32,000円 定期預金預け入れ 利子分 775円
27年 10月分	0	6,351,078	5,533,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 4件 51,000円
27年 11月分	0	6,395,078	5,489,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 5件 44,000円
27年 12月分	0	6,438,078	5,446,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 4件 43,000円
28年 1月分	0	6,467,078	5,417,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 4件 29,000円
28年 2月分	0	6,489,096	5,395,000	0	0	貸付 0件 0円 返還 3件 22,000円 普通預金預け入れ 利子分 18円
28年 3月分	0	5,534,871	6,350,000	0	0	貸付 2件 1,000,000円 返還 4件 45,000円 定期預金預け入れ 利子分 775円
28.3.31	0	5,534,871	6,350,000	0	0	28年3月末板橋好雄奨学資金貸与基金 現在高 11,884,871円